

労働力調査（基本集計）

平成30年（2018年）1～3月期平均（速報）

結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6587万人と、前年同期に比べ144万人の増加
- ・ 完全失業者数は166万人と、前年同期に比べ25万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.5%と、前年同期に比べ0.4ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、北関東・甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州及び沖縄は増加、東北は減少
 - ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東、北関東・甲信、北陸、東海、近畿、中国及び四国は減少、九州及び沖縄は同数
 - ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり
- | | | | | | |
|--------|------|-------------|-----|------|-------------|
| 北海道 | 3.1% | (0.7ポイント低下) | 近 畿 | 2.7% | (0.4ポイント低下) |
| 東 北 | 2.8% | (0.2 〃) | 中 国 | 2.1% | (0.4 〃) |
| 南関東 | 2.5% | (0.5 〃) | 四 国 | 2.3% | (1.1 〃) |
| 北関東・甲信 | 2.0% | (0.6 〃) | 九 州 | 2.7% | (0.2 〃) |
| 北 陸 | 2.0% | (0.5 〃) | 沖 縄 | 3.6% | (0.2 〃) |
| 東 海 | 1.9% | (0.4 〃) | | | |

図 1 地域別完全失業率

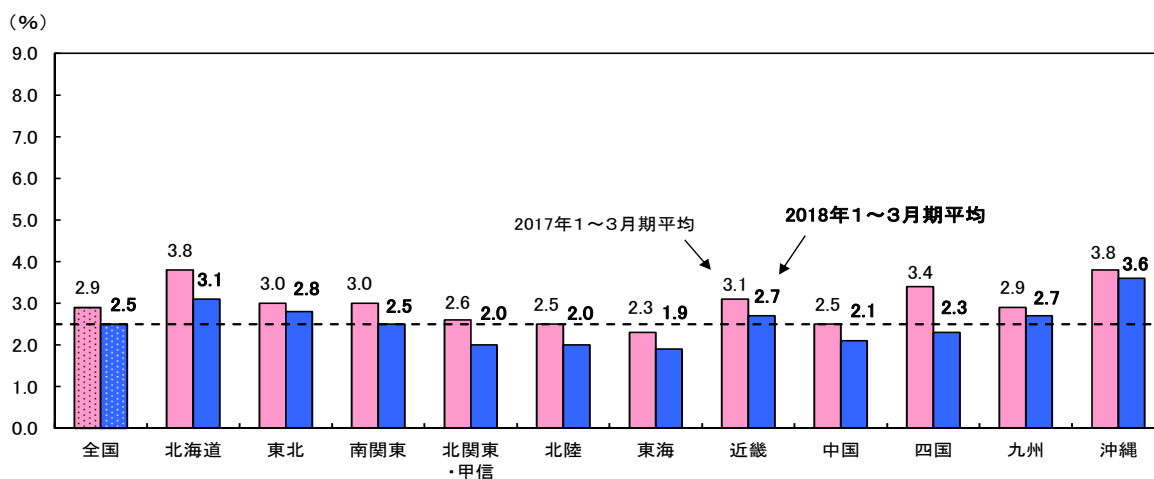


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

